

# 1泊2日 元気にゴール

障がいのある子どもたちの入所施設、室蘭言泉学園（室蘭市母恋南町、伊藤裕司施設長）の恒例行事「50kmあるかい？」がこのほど実施され、入居児童や職員35人が祝津町の室蘭民報みんなの水族館や水元町の室蘭聾学校までの計33kmを一泊2日で歩いた。（山本早希）



青空の下、元気に歩く児童ら（提供写真）

## 入居児童ら33km歩く 室蘭言泉学園

同行事は1980年に入所児童の1人が「稚内まで歩きたい」と言ったことがきっかけ。

児童生徒と職員は初日、同学園を出発。同水族館を折り返し、母恋北町の母恋公園までの約16kmを歩いた。2日目は同公園からイタンキ浜通りなどを通ってゴール地点の室蘭聾学校を目指した。途中で歩けなくなった児童らは、伴走車も用意し乗せた。

参加した小学5年の女子児童は「歩くのが楽しかった」、高校1年の女子生徒は「1日目最後まで歩けたけど、2日目は車に乗っちゃった」、小学2年の男子児童は「来年は100km走る会にしてみたい」とそれぞれ笑顔だった。